

技術開発

円滑で効率的な下水道事業の運営はもとより、日本の下水道の発展のため
先進技術開発への積極的な取り組みを通して、世界の水・環境問題解決に貢献します。

技術開発

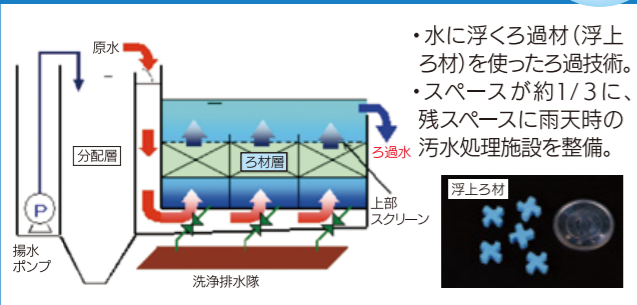
下水道の事業運営は、限られた経営資源の中で、脱炭素化をはじめとした多様化・複雑化するニーズに対応し、高度化する施策目的を効果的に達成することが常に求められています。これまで大阪府では、様々な制約条件の中、既存技術の改善や新技術の開発・導入による課題解決を図ってきました。その中で、本市独自技術の研究・開発の実施とともに、共同研究制度を設け、有用な技術を持つ民間企業や大学等との共同研究も積極的に進めてきたところです。

また、民間企業との共同によって開発した技術を実施施設し、ショーケースとして利用することは、民間企業が国内はもとより海外展開を進める上での一助となり、産業界の活性化に寄与することが期待されます。そうした技術開発の派生効果も期待されることから、下水道科学館なども利用した情報発信により国内への水平展開・海外展開も意識しながら技術開発を進めています。

●これまでに大阪市が開発した技術の一例

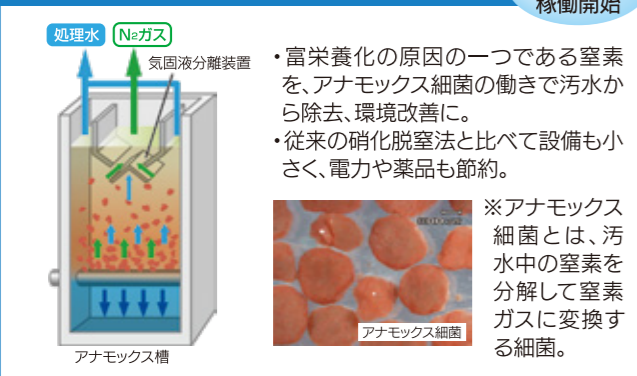
①高速ろ過施設の最初沈殿池利用

国内初



②アナモックス反応を利用した窒素除去

国内初
平成29年4月稼働開始



共同研究制度

下水道に関する諸課題を解決するにあたって、民間企業等との共同研究は非常に有益です。

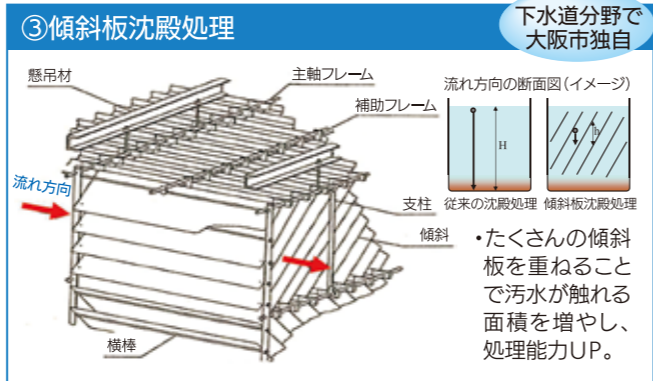
このことから、大阪市建設局では下水道に関する諸課題の解決並びに技術開発の推進に向けて、共同研究制度及びフィールド提供制度を設けています。

◆共同研究制度

民間企業等から受けた技術提案のうち、大阪市にとって必要な技術について共同して調査、研究及び試験等を実施。

◆フィールド提供制度

下水道に関する民間企業等の技術開発を支援する観点から、試作段階にある機器等の性能評価を対象として、施設等(フィールド)を提供。



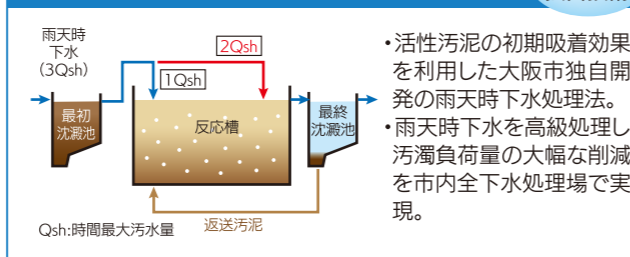
④下水汚泥の高温高濃度消化

大阪市独自技術



⑤雨天時下水活性汚泥処理法(3W処理法)

大阪市独自技術



情報発信

広報

日頃意識することのない下水道について理解・関心を深めてもらうため、下水道の役割や大阪市の下水道事業についてわかりやすく広く情報発信しています。

下水道科学館 体験型展示やイベントを通じて下水道について学び、生活に欠かせないライフラインであることを認識していただけます。



大阪市此花区高見1丁目2番53号
【開館時間】 午前9時30分～午後5時
 (入館は午後4時30分まで)
【休館日】 毎週水曜日(水曜日が休日の場合は翌日) 年末年始
【入館料】 無料

公式SNS



大阪市下水道科学館
@ossmofficial

公式HP

https://www.osaka-ssm.jp/



太閤(背割)下水見学施設

(平成17年度大阪市指定文化財)

平成19年度
国土交通大臣賞
「いきいき下水道賞」
受賞



大阪市中央区農人橋1-3-3(市立南大江小学校 西側)

【TEL】06-4963-2092 【Fax】06-4963-2087

【見学料】無料

※地下施設の見学については(一財)都市技術センターまでお申し込みください。

下水処理場一般公開

下水処理場を見学していただき、汚れた水をきれいにする微生物を顕微鏡で観察したり、浸水からまちを守るポンプの役割を学んでいただけます。



※開催はHP・公式SNS等でお知らせします。

水の流れツアー

市内在住・在学の小学生及びその保護者の方を対象に「水」に対する関心と理解を深めてもらうため、淀川水系の河川と、上下水道の各施設を見学し、身近にある水がご家庭に届き、再び自然に還るまでを学んでいただけます。 ※開催はHP・公式SNS等でお知らせします。

マンホールカード

下水道について楽しみながら幅広く関心を持っていただくためのカード型パンフレットで、下水道広報プラットフォームが下水道を管理する自治体等と作っています。大阪市のカードは平成6年に下水道事業着手100周年を記念して市民公募で決定した大阪城デザインと大阪市出身の漫画家ユニット「ゆでたまご」先生の作品であるキン肉マンデザインの2種類です。



配布場所

おおさかATCグリーンエコプラザ(大阪城デザイン)
大阪市下水道科学館(キン肉マンデザイン)

下水部

公式SNS

